

V230a TMT 計画 - その全体状況

家正則, 山下卓也, 臼田知史, 青木和光, 高見英樹, 柏川伸成, 宮下隆明, 鈴木竜二, 橋本哲也, 尾崎忍夫, 神津昭仁(国立天文台), Edward Stone(CIT), Henry Yang(UC), Gary Sanders(TMT), Ernie Seaquist, Greg Fahlman(Canada), Suijian Xue, Shude Mao(China), Eswar Reddy(India)

TMT(Thirty Meter Telescope)は国立天文台が米国、カナダ、中国、インドとの国際協力でマウナケア山頂域に建設をめざす、主鏡口径30mの超大型光赤外線望遠鏡である。国際協力分担の枠組みの協議に基づき、各パートナーの予算確保の努力が進められてきたが、平成25年度に入り以下のようにいくつかの大きな進展があり、平成26年度から八カ年計画としての建設開始を目指している。

(1) ハワイ山頂域の建設予定地での建設許可申請が認可され、借地権を有するハワイ大学と平成26年度からの建設開始に向けて転貸借の協議に入った。

(2) 平成25年度予算で、TMT準備費および建設経費の一部が国立天文台に措置された。国レベルでの建設経費は国際パートナーのなかでは一番乗りとなり、他国の予算要求の後押しとなっている。

(3) カリフォルニア大学・カリフォルニア工科大学が主張してきた、初期投資に関する特典付加の提案については、第三者調停により、取り下げる事を国際合意した。

(4) 全米財団がTMT参加に向けて国内協議を支援する準備費を措置した。

(5) Yale大学が参加意向表明した。

(6) 主合意契約書、TMT国際天文台定款、及び同細則などの法的書類の起案検討が進んでおり、平成26年1月に自然科学研究機構長が最終署名できるよう協議を進めている。